

障がい児を有する保護者の子育て現状

—A市の特別支援学級の親に対するアンケート調査結果—

○ 川崎医療福祉大学 氏名 李 永喜 (02950)

八重樫 牧子 (福山市立大学・01335)

キーワード3つ：負担感、受容、仲間

1. 研究目的

本研究は、保護者の意識調査に基づいて、親支援活動を開発することを目的としている。

2. 研究の視点および方法

(1) 研究の視点

「障がいのあるお子さんとの生活に関するアンケート調査」の「あなたが日頃感じていることについて」（以下、「子育て状況」）の結果と、アンケート対象（A市内の小中校特別支援学級に在籍している子どもの保護者）の属性（年齢、家族形態、就労形態）との関連について分析を行う。また、子育て状況（14項目）について因数分析を行い、因子を抽出し、その因子と属性、サポート、医療、福祉サービス、教育、虐待傾向、安心して暮らせるA市との関連について分析を行う。

(2) 研究方法

平成24年10月17日に「A市障がい児親の会」（以下、「親の会」）の総会の参加者に自記式調査用紙と返信用封筒を配布した。後日個別に封筒に入れた調査用紙を「親の会」に届けてもらい回収した。調査用紙は333配布し332回収した。（回収率99%）さらに調査用紙を点検した結果有効回答数は328人であった。

(2)-1 属性について

-年齢については、基礎集計結果を踏まえて、40歳未満と40歳以上の2群に分けた。

-家族形態については、同居者に関する質問項目より、核家族、ひとり親家族、三世代家族、ひとり親三世代家族、その他に分類した。なお、分析するにあたっては、ひとり親三世代については、ひとり親家族に含めることにした。その他は欠損値扱いとした。

-就労形態については、常勤、非常勤、働いていない（仕事をしていない）の3群を分析対象とし、在宅勤務その他は欠損値扱いとした。

(2)-2 クロス集計

属性と子育て状況とのクロス集計を行い、カイ2乗検定による有意差の検討を行った。なお、子育て状況については4件法による順序尺度であったので、2件法に修正した。

(2)-3 子育て状況に関する因子得点の算出

子育て状況(14項目)については、ほぼ正規分布をしていたので、因子分析(重みなし最小二乗法、プロマックス回転)を行い、因子得点を算出した。なお、得点化するにあたっては、それぞれの因子名の内容にあわせて得点を附置した。

(2)-4 子育て状況に関する因子得点と属性との関連

因子分析によって抽出した因子得点と属性、サポート、医療、福祉サービス、教育、虐待傾向、安心して暮らせるA市との関連性を検討するために、2群を比較する場合はt検定、3群を比較する場合は一元配置分散分析を行った。

3. 倫理的配慮

「日本社会福祉学会研究倫理指針」に従って調査協力者に研究の趣旨や目的、研究結果の取り扱い、データや資料を厳重に管理することを説明した。なお、分析結果について親の会にフィードバックすることを表明している。

4. 研究結果

(1)クロス集計

年齢と子育て状況との関連では、40歳以上より40歳未満が「経済的負担」をより多く感じている。「子育てが楽しい」と考えるのは、核家族(85%)、三世代家族(83%)、ひとり親家族(66%)の順となっている。「障がいの理解」は核家族が高かった。「支えられた子育て実感」は核家族が高い。「ひとり親家族」は仲間が少ないことが明らかになった。「子育ては難しい」と感じているのは「働いていない」保護者が高い。

(2)因子分析

「あなたが日頃感じていることについて」(子育て状況)に関する問1~問14の14項目の因子分析(重みなし最小二乗法、プロマックス回転)を行った結果、項目10「障がいについて専門家の講演を聞いたり、本を読んだりする」については共通性が低かったので、除去し、再度13項目について因子分析(重みなし最小二乗法、プロマックス回転)を行った。その結果、3つの因子を抽出することができた。第1因子は「負担感」、第2因子は「受容・理解」、第3因子は「ささえ・仲間」と命名した。結果として、Tamhane' 2 T2検定では優位さが明らかになる項目はなく、第3因子「ささえ・仲間」の存在が「情緒的サポート」「手段的サポート」につながっていることが分かった。そして、「安心して育てられるA市での子育て」は第1因子、第2因子、第3因子とも「当てはまる」が高い結果となっている。

5. 考察

障がいのある子どもを育てる大変さや楽しさは、年齢、学歴、経済的状況、知識、住む地域(地区)、家族形態に関係なく感じていることが明らかになった。「仲間」の存在が互いのささえになることは明らかであり、仲間づくりの支援を充実していくことが要請されているといえる。